

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

1-ヘプタノールの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

### 試験番号

A 0 0 0 4 7 2 - 1 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: 1-ヘプタノール
- 2) 暴露方式: 止水式(密閉), 振とう培養(100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度(設定値):  
対照区, 助剤対照区, 2.50, 5.30, 11.0, 24.0, 50.0 mg/L  
(公比: 約2.1)  
助剤濃度一定: 100 mg/L (HCO-40使用)
- 6) 試験液量: 100 mL (OECD培地) / 容器
- 7) 連数: 3 容器 / 試験区
- 8) 初期細胞濃度:  $1 \times 10^4$  cells/mL
- 9) 試験温度:  $23 \pm 2$  °C
- 10) 照明: 4000 lux (±20%の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分析法: ガスクロマトグラフィー (GC)

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、暴露開始時の測定値の設定値に対する割合が±20%以内であったため、下記の阻害濃度の算出には設定値を用いた。

### 2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50 (0-72) : 16.4 mg/L (95%信頼区間：算出不可)

最大無作用濃度 NOECb (0-72) : 11.0 mg/L

### 3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-48) : 29.2 mg/L (95%信頼区間：20.7～41.3)

最大無作用濃度 NOECr (24-48) : 11.0 mg/L

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-72) : 30.9 mg/L (95%信頼区間：算出不可)

最大無作用濃度 NOECr (24-72) : <2.50 mg/L<sup>\*1</sup>

\*1：NOECr (24-72) のみが最低濃度区2.50mg/L (10.6%阻害) でも有意と算出された（通常は10%程度の阻害は有意とならないことが多い）。この理由として、助剤対照区におけるデータのバラツキが異常に少なかったことが考えられる。